

2021年6月(第137回)景気定点観測アンケート調査結果

調査期間:2021年5月25日～6月3日

調査対象:2021年度公益社団法人経済同友会幹事、2020年度経済情勢調査会委員、その他2020年度

委員会登録の経営トップマネジメント(497名)および各地経済同友会代表幹事(80名) 計577名

集計回答数:202名(回答率=35.0%)〔製造業54名、非製造業148名〕うちWEB回答数:146名

〔公益社団法人経済同友会会員147名、各地経済同友会代表幹事55名〕

※本調査は年4回(3月、6月、9月、12月)実施

【調査結果の概要】

I. 日本経済

(1) 景気の現状について

「緩やかに拡大している」がやや低下(28.1%→21.3%)したが、「緩やかに後退している」や「後退している」もやや低下(それぞれ19.9%→15.8%、11.8%→10.4%)したため、同友会景気判断指数は横ばい(▲7.7→▲7.7)で推移した。

(2) 今後の見通しについて

「緩やかに拡大している」が大幅に上昇(21.3%→66.8%)し、指数はプラス(▲7.7→41.8)に転じた。

判断根拠は「個人消費の増加」(56.8%→66.8%)、「設備投資の増加」(13.2%→20.8%)など。

(※) 同友会景気判断指数: 景気の現状を判断する回答について、「拡大している」を1、「緩やかに拡大している」を0.5、「横ばい状態が続いている」を0、「緩やかに後退している」を-0.5、「後退している」を-1として、各回答の比率を積算し合計したもの(「その他」は考慮せず)。

II. 企業業績、設備投資等

(1) 売上高および経常利益(前年同期比)

売上高: 4-6月期見込みは、全体で「増収」が大幅に上昇(27.6%→53.8%)した。

同友会売上高指数は、4-6月期見込み: 44.7、7-9月期予想: 50.5となった。

経常利益: 4-6月期見込みは、全体で「増益」が大幅に上昇(31.7%→51.1%)した。

同友会経常利益指数は、4-6月期見込み: 33.9、7-9月期予想: 38.0となった。

(2) 設備投資(2020年度比)

同友会設備投資指数は大幅に上昇(3.3→34.0)した。 ※2021年3月調査は2019年度比、今回調査は2020年度比である点に注意

(3) 雇用

同友会雇用判断指数は、2021年3月調査時よりマイナス幅が拡大(▲7.8→▲15.0)した(人手不足感が拡大)。

III. トピックス: ワクチンの職域接種への協力体制とワクチンパスポートへの期待

1. ワクチンの職域接種への対応について

(1) 職域接種等にあたって、ご協力いただけること(複数回答可)

「産業医や看護師による自社施設での従業員へのワクチン接種」(43.7%)、「自社施設の一部を近隣住民のワクチン接種会場として提供すること」(23.2%)、「産業医や看護師による自社施設での従業員家族へのワクチン接種」(18.4%)となった。

(2) 実施に際しての懸念事項、協力が困難な理由等(自由記述)

- ・ 情報に関する事項: 要件、予約状況の管理、自治体との連携方法等の職域接種に必要な情報が不明など。
- ・ オペレーションに関する事項: 副反応等の症状がある場合、自社での対応が難しく、地域の医療機関との連携が必要など。
- ・ 設備・リソースに関する事項: 適切な規模のスペースや十分な数の医療スタッフを確保することが困難など。
- ・ 行政との連携に関する事項: 国や地方自治体とワクチン接種の情報を共有する仕組みが確立していないなど。

2. ワクチンの接種・副反応に係る休暇について

(1) 従業員のワクチン接種: 「就業時間とみなす」(33.7%)、「検討中/まだ検討をしていない」(33.7%)、

「特別休暇(有給)を付与する」(16.8%)の順となった。

(2) 副反応発生時の対応: 「検討中/まだ検討をしていない」(39.9%)、「特別休暇(有給)を付与する」(25.9%)、

「年次有給休暇を取得するように推奨する」(13.0%)、「就業時間とみなす」(10.9%)の順となった。

3. 「ワクチンパスポート」が導入された場合に期待する用途や懸念事項等

【期待する用途等】

- ・ 海外往来時の制限の緩和等: 海外出張の再開、海外出張や赴任時の隔離期間の短縮など。
- ・ 国内ビジネスでの活用: 出社せざるを得ない職場における活用、国内出張や商談等のビジネスにおける制限の緩和など。
- ・ 国内の行動規制の緩和: イベントや施設入場の際の人数制限、営業時間等の制限緩和など。

【懸念事項等】

- ・ 事情により接種できない方への配慮: 事情によりワクチンを接種できない方が誹謗中傷や不利益を被らないようにする必要など。
- ・ 国際的な取り扱いと整合性: 各国が独自の基準でパスポートを発行する場合、保有有無だけでなく有効性を確認する必要など。
- ・ パスポートへの過信: ワクチンの効果は完全ではないため、当面は注意して行動する必要など。

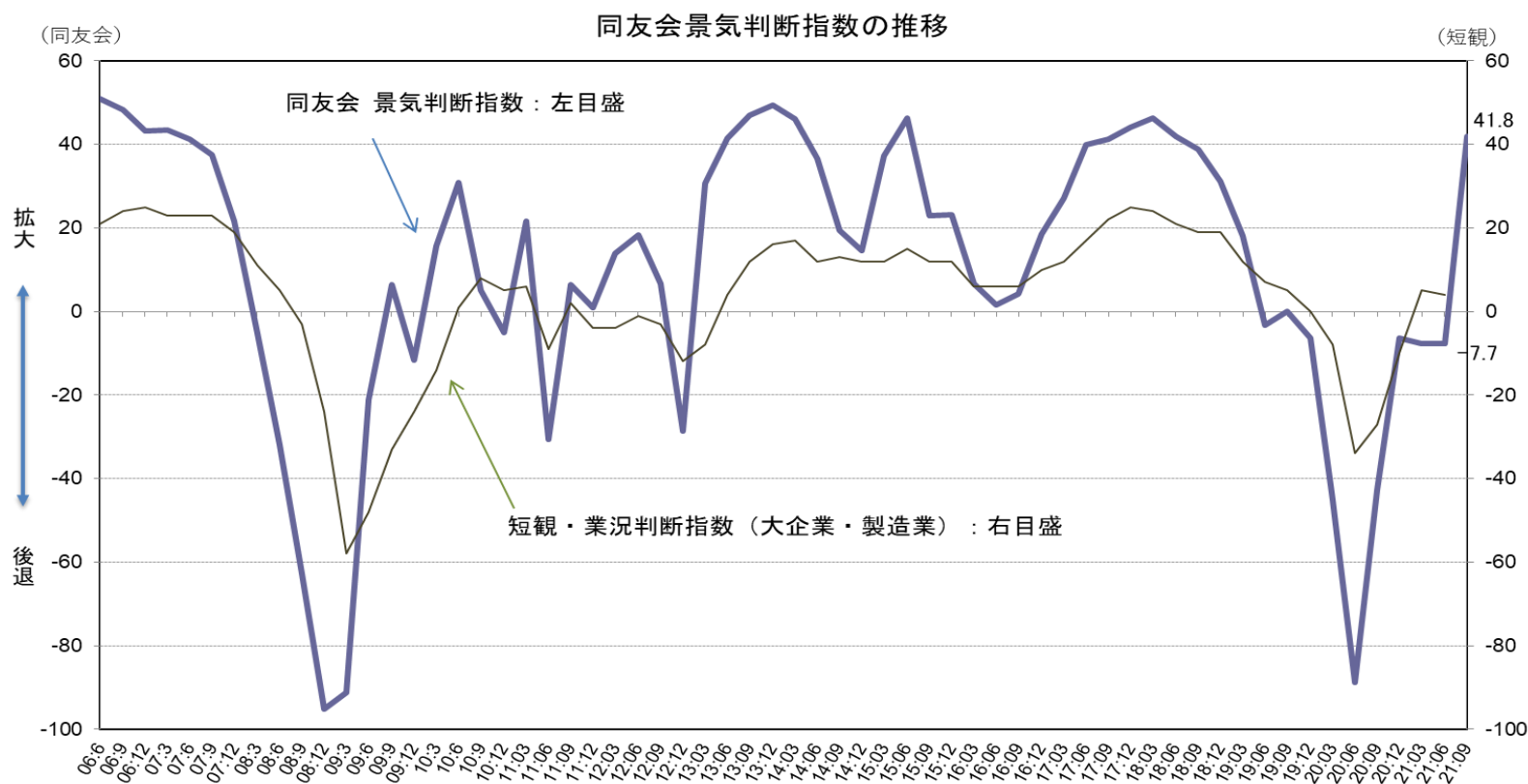
I. 日本経済

1. 景気の現状と見通しについて

(1)現在の我が国の景気動向をどのように判断されますか。

(2)2021年度後半(2021年10月～2022年3月)の景気についてどのようにお考えですか。

図表1(1)



(注) 景気判断指数: アンケートの答えのうち、「拡大している」を1、「緩やかに拡大している」を0.5、「横ばい状態が続いている」を0、「緩やかに後退している」を-0.5、「後退している」を-1として、それぞれの答えの比率をかけ、合計したもの(「その他」は考慮せず)。

図表1(2)

全体: 現状(回答数202人) 見通し(回答数202人)

(回答比%)

調査時点	2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6	今後の見通し
拡大している	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.4	0.0	0.0	13.4
緩やかに拡大している	23.7	17.2	3.7	0.0	15.3	31.7	28.1	21.3	66.8
横ばい状態が続いている	53.6	54.9	27.9	3.2	20.5	30.7	38.0	51.0	12.4
緩やかに後退している	21.0	26.0	37.4	9.5	17.9	20.6	19.9	15.8	4.0
後退している	1.3	2.0	28.3	84.1	42.6	13.3	11.8	10.4	3.0
その他	0.4	0.0	2.7	3.2	2.6	2.3	2.3	1.5	0.5
(景気判断指数)	0.0	-6.4	-45.2	-88.9	-42.8	-6.4	-7.7	-7.7	41.8

図表1(3)

製造業:現状(回答数54人) 見通し(回答数54人)

(回答比%)

調査時点	2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6	今後の見通し
拡大	22.2	10.9	3.1	0.0	13.2	43.5	37.3	27.8	77.8
横ばい状態	52.8	57.8	25.0	1.5	24.5	30.6	30.5	44.4	13.0
後退	25.0	31.3	70.3	98.5	60.4	24.2	30.5	25.9	9.3

非製造業:現状(回答数148人) 見通し(回答数148人)

(回答比%)

調査時点	2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6	今後の見通し
拡大	24.3	20.0	3.9	0.0	17.5	28.8	24.7	18.9	81.1
横ばい状態	53.9	53.6	29.0	3.9	19.0	30.8	40.7	53.4	12.2
後退	21.1	26.4	63.9	91.6	60.6	37.8	32.1	26.4	6.1

公益社団法人 経済同友会:現状(回答数147人) 見通し(回答数147人)

(回答比%)

調査時点	2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6	今後の見通し
拡大	25.4	16.8	2.9	0.0	18.7	36.1	31.6	23.1	85.0
横ばい状態	50.9	55.5	27.1	3.5	23.0	27.1	33.3	50.3	8.8
後退	23.1	27.7	66.5	94.2	56.1	33.7	32.7	24.5	5.4

各地経済同友会代表幹事:現状(回答数55人) 見通し(回答数55人)

(回答比%)

調査時点	2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6	今後の見通し
拡大	17.6	18.4	6.1	0.0	9.8	23.1	16.0	16.4	67.3
横ばい状態	62.7	53.1	30.6	2.1	13.7	42.3	54.0	52.7	21.8
後退	19.6	28.6	63.3	91.5	72.5	34.6	28.0	30.9	10.9

※「拡大」は「拡大」、「緩やかに拡大」の合計。「後退」は「後退」、「緩やかに後退」の合計。

※「その他」が選択されている場合は、上記の合計値が100を下回る場合がある【図表1(2)参照】。

(3)2021年度後半(2021年10月～2022年3月)の景気について、そのように判断する根拠をお選びください(2つまで)。

図表2

全体(回答数202人)

(回答比%)

調査時点	2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6
設備投資	増加	13.1	26.5	8.8	0.9	1.6	6.5	13.2
	減少	12.7	18.0	11.5	22.8	22.6	20.9	8.6
個人消費	増加	7.7	22.5	6.0	27.4	22.6	32.1	56.8
	減少	56.6	30.0	59.0	46.1	47.3	34.4	16.4
政府支出	増加	5.9	21.5	10.6	22.4	16.1	23.3	23.6
	減少	0.5	1.0	0.0	0.0	0.5	0.9	0.9
住宅投資	増加	0.0	0.5	0.0	0.5	1.1	0.9	1.4
	減少	7.7	4.5	1.8	1.4	2.7	1.9	1.4
輸 出	増加	2.3	4.0	3.7	4.1	11.3	20.5	24.5
	減少	46.2	25.0	18.0	15.5	14.0	5.1	1.8
生産・販売	増加	1.8	5.0	1.8	7.8	13.4	14.0	26.4
	減少	14.0	15.0	29.5	29.2	21.5	13.5	5.9
その他	12.7	9.0	28.6	10.5	10.8	11.2	6.8	9.4

その他回答は「コロナワクチンの大規模接種開始」など。

(4)対ドル円相場:2021年12月末値

図表3(1)

＜参考＞ 2021年5月21日 終値1ドル＝108円94銭
(回答比%)

全体(回答数196人)

	90円 未満	90円～ 95円 未満	95円～ 100円 未満	100円～ 105円 未満	105円～ 110円 未満	110円～ 115円 未満	115円～ 120円 未満	120円 以上
今回	0.0	0.0	0.0	8.7	66.3	25.0	0.0	0.0
前回	0.0	0.0	1.4	29.1	66.2	2.8	0.5	0.0

(5)日経平均株価(225種):2021年12月末値

図表3(2)

＜参考＞ 2021年5月21日 終値28,317円83銭
(回答比%)

全体(回答数194人)

	24,000円 未満	24,000円 台	25,000円 台	26,000円 台	27,000円 台	28,000円 台	29,000円 台	30,000円 台	31,000円 台	32,000円 以上
今回	0.5	0.0	1.5	2.6	6.2	23.2	27.3	25.8	8.8	4.1
前回	0.9			1.9	5.7	17.5	16.1	30.8	13.3	13.8

※今回、株価の選択肢におきまして「24,000円未満」とするところを「23,000円未満」と誤って記載しておりました。

深くお詫び申し上げます。

Ⅱ. 企業業績、設備投資等

1. 貴社の業績についてお伺いします。下表から該当する番号をお選びください。

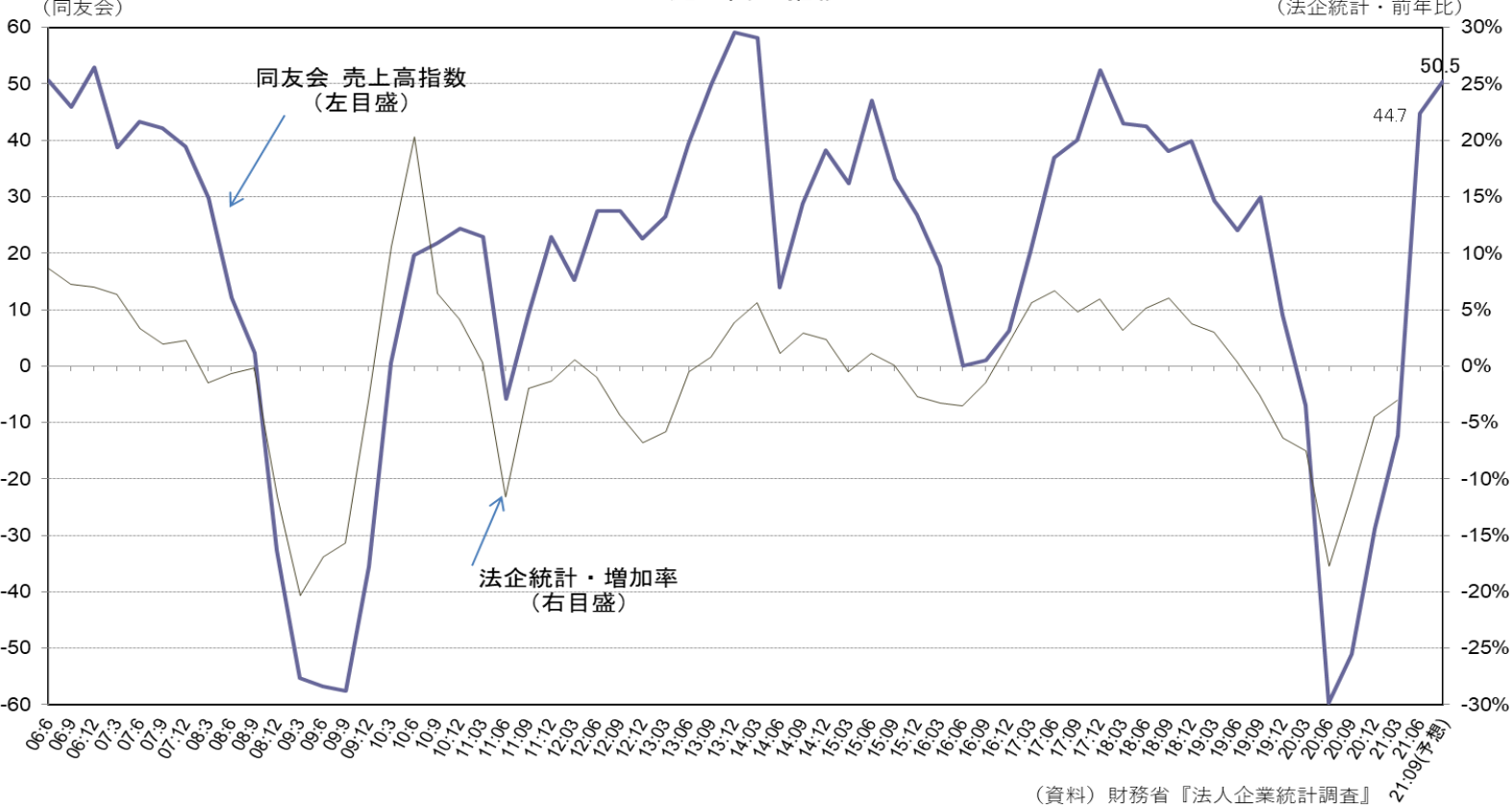
(1) 貴社の売上高

図表4(1)

(同友会)

売上高の推移

(法企統計・前年比)



(注) 同友会売上高: アンケートの今期売上高見込みの回答について、「増収」を1、「横ばい」を0、「減収」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。なお、2021年9月の値は2021年6月調査時における予想。

図表4(2)

全体: 見込み(回答数186人) 予想(回答数186人)

(回答比%)

見込み 予想

	2019/ 7-9	2019/ 10-12	2020/ 1-3	2020/ 4-6	2020/ 7-9	2020/ 10-12	2021/ 1-3	2021/ 4-6	2021/ 7-9
増 収	45.5	35.8	29.4	10.0	10.8	20.0	27.6	53.8	59.1
横ばい	38.9	37.4	34.3	20.4	27.3	31.2	32.5	37.1	32.3
減 収	15.6	26.8	36.3	69.7	61.9	48.8	39.9	9.1	8.6
同友会売上高指数	29.9	9.0	-6.9	-59.7	-51.1	-28.8	-12.3	44.7	50.5

製造業: 見込み(回答数54人) 予想(回答数54人)

(回答比%)

	2019/ 7-9	2019/ 10-12	2020/ 1-3	2020/ 4-6	2020/ 7-9	2020/ 10-12	2021/ 1-3	2021/ 4-6	2021/ 7-9
増 収	42.3	33.9	39.7	13.8	11.3	25.0	32.8	64.8	68.5
横ばい	36.6	41.9	23.8	13.8	28.3	31.7	29.3	25.9	24.1
減 収	21.1	24.2	36.5	72.3	60.4	43.3	37.9	9.3	7.4

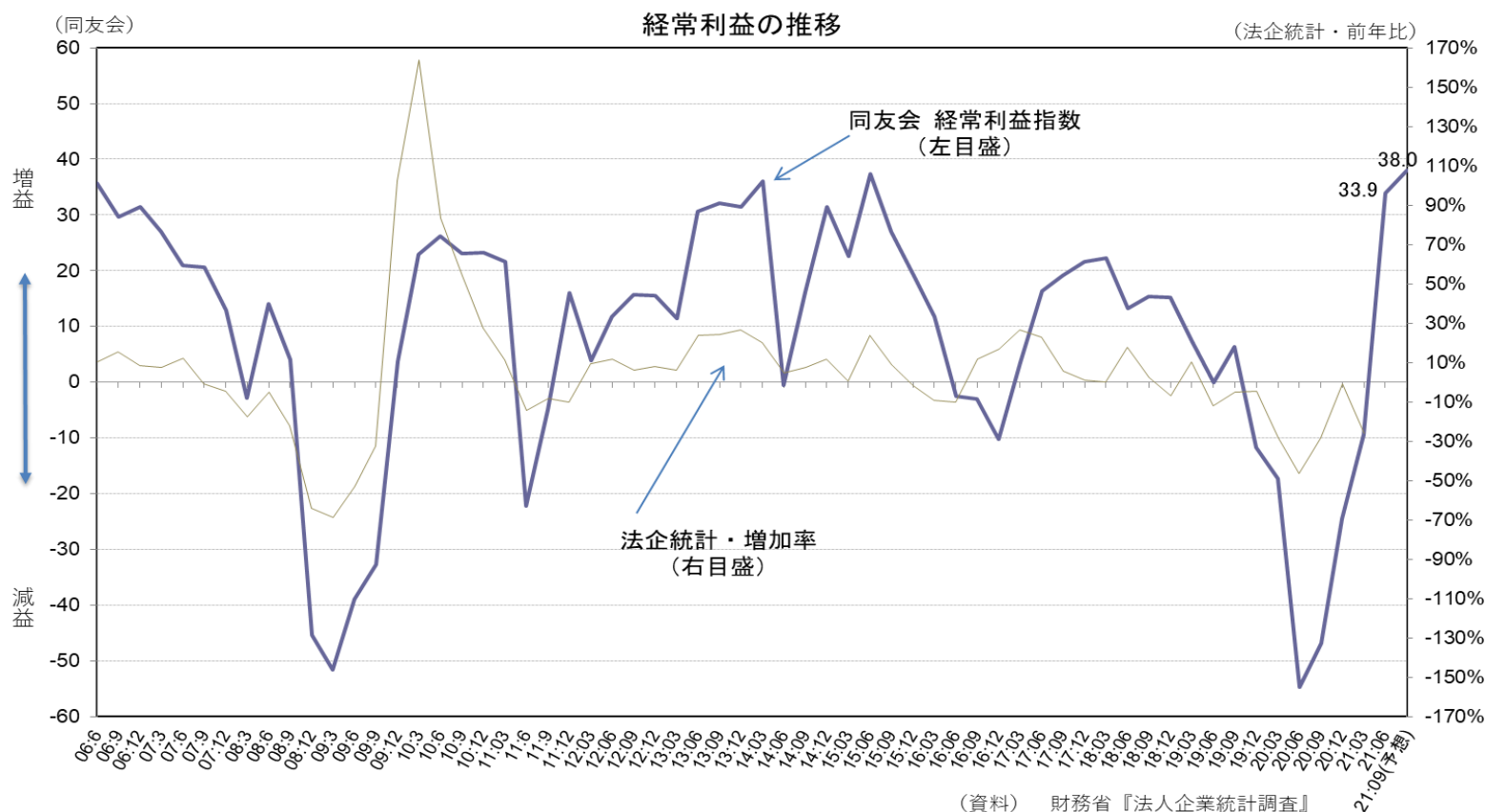
非製造業: 見込み(回答数132人) 予想(回答数132人)

(回答比%)

	2019/ 7-9	2019/ 10-12	2020/ 1-3	2020/ 4-6	2020/ 7-9	2020/ 10-12	2021/ 1-3	2021/ 4-6	2021/ 7-9
増 収	47.1	36.7	24.8	8.1	10.6	17.9	25.5	49.2	55.3
横ばい	40.0	35.2	39.0	23.5	26.8	31.0	33.8	41.7	35.6
減 収	12.9	28.1	36.2	68.4	62.6	51.0	40.7	9.1	9.1

(2) 貴社の経常利益

図表5(1)



(注) 同友会経常利益: アンケートの今期経常利益見込みの回答について、「増益」を1、「横ばい」を0、「減益」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。なお、2021年9月の値は2021年6月調査時における予想。

図表5(2)

全体: 見込み(回答数186人) 予想(回答数187人)

(回答比%)

見込み 予想

	2019/ 7-9	2019/ 10-12	2020/ 1-3	2020/ 4-6	2020/ 7-9	2020/ 10-12	2021/ 1-3	2021/ 4-6	2021/ 7-9
増益	35.8	25.9	24.3	12.1	13.7	23.5	31.7	51.1	53.5
横ばい	34.8	36.5	34.2	21.1	25.7	28.5	27.2	31.7	31.0
減益	29.4	37.6	41.6	66.8	60.6	48.0	41.1	17.2	15.5
同友会経常利益指数	6.4	-11.7	-17.3	-54.7	-46.9	-24.5	-9.4	33.9	38.0

製造業: 見込み(回答数54人) 予想(回答数54人)

(回答比%)

	2019/ 7-9	2019/ 10-12	2020/ 1-3	2020/ 4-6	2020/ 7-9	2020/ 10-12	2021/ 1-3	2021/ 4-6	2021/ 7-9
増益	35.8	27.9	34.4	18.5	13.2	39.0	50.0	63.0	64.8
横ばい	23.9	32.8	24.6	16.9	24.5	20.3	17.2	24.1	22.2
減益	40.3	39.3	41.0	64.6	62.3	40.7	32.8	13.0	13.0

非製造業: 見込み(回答数132人) 予想(回答数133人)

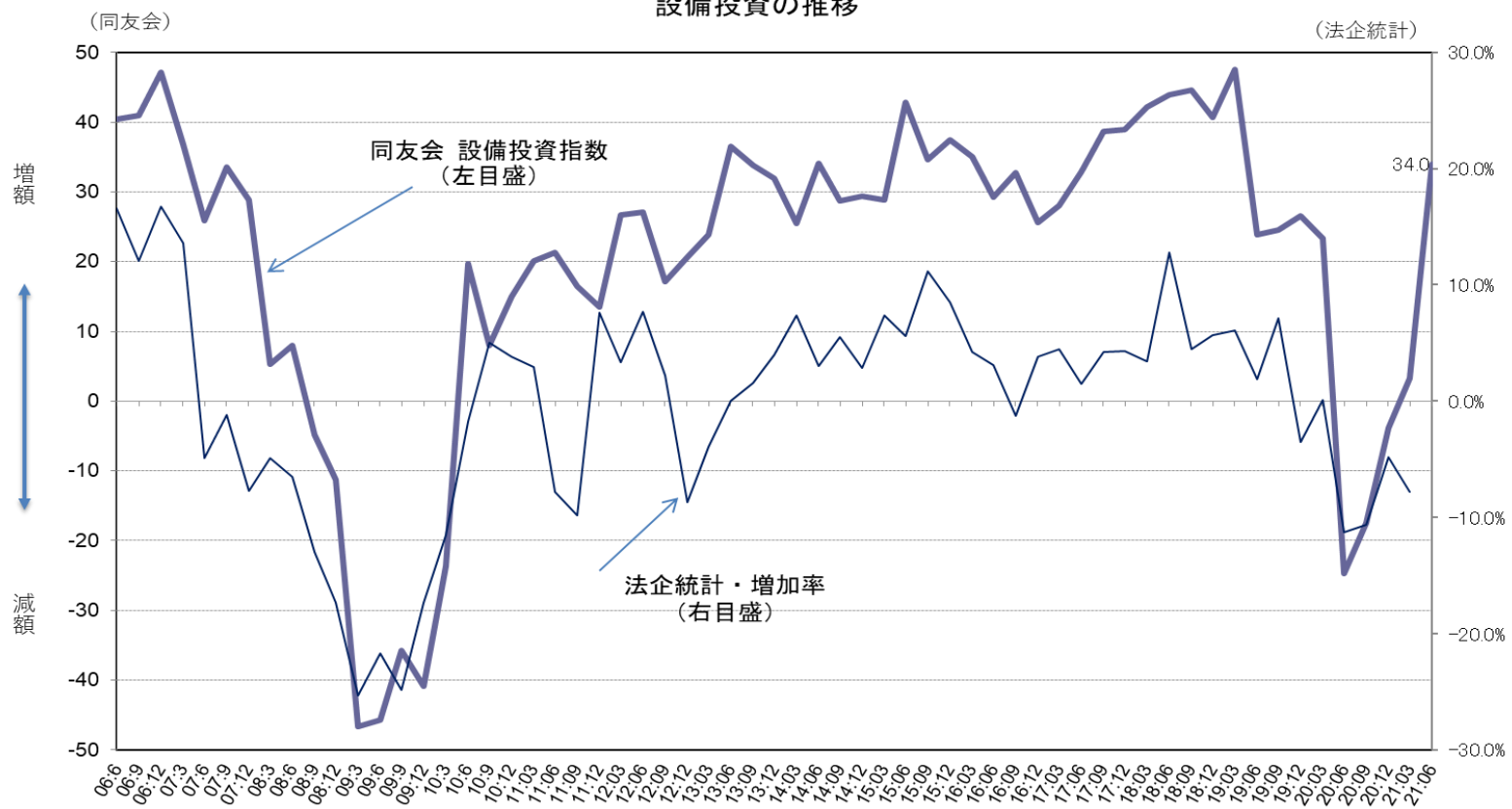
(回答比%)

	2019/ 7-9	2019/ 10-12	2020/ 1-3	2020/ 4-6	2020/ 7-9	2020/ 10-12	2021/ 1-3	2021/ 4-6	2021/ 7-9
増益	35.8	25.0	19.9	9.0	13.9	17.0	24.3	46.2	48.9
横ばい	40.1	38.3	38.3	23.1	26.2	31.9	31.3	34.8	34.6
減益	24.1	36.7	41.8	67.9	59.8	51.1	44.4	18.9	16.5

2. 貴社の設備投資(2021年度)についてお伺いします。
(1)国内の設備投資額(2021年度)は2020年度比でどのような予定でしょうか。

図表6(1)

設備投資の推移



(資料) 財務省『法人企業統計調査』

(注) 同友会設備投資: アンケートの回答について、「増額」を1、「2020年度並み」を0、「減額」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。

図表6(2)

(回答比%)

調査時点		2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6
全体 (回答数194人)	増 額	41.0	42.9	39.0	17.7	20.2	27.5	29.0	44.8
	2020年度並み*	42.5	40.7	45.2	39.9	42.1	41.1	45.2	44.3
	減 額	16.5	16.4	15.7	42.4	37.6	31.4	25.7	10.8
	同友会設備投資指数	24.5	26.5	23.3	-24.7	-17.4	-3.9	3.3	34.0
製造業 (回答数54人)	増 額	39.4	49.2	40.0	12.3	15.4	25.8	37.3	50.0
	2020年度並み*	39.4	31.7	38.5	33.8	40.4	35.5	28.8	38.9
	減 額	21.1	19.0	21.5	53.8	44.2	38.7	33.9	11.1
非製造業 (回答数140人)	増 額	41.8	39.7	38.6	20.3	22.2	28.3	25.8	42.9
	2020年度並み*	44.0	45.2	48.3	42.8	42.9	43.4	51.7	46.4
	減 額	14.2	15.1	13.1	37.0	34.9	28.3	22.5	10.7

*注) 2019/9～2020/3調査時は2018年度並み、2020/6～2021/3調査時は2019年度並み

(2)増額される設備投資／(3)減額される設備投資の主な内容をお選びください(複数回答可)。

図表6(3)

○増額設備投資

(回答比%)

回答数		能力増強 投資	新規事業 投資	合理化・ 省力化 投資	環境対策 投資	維持・補修 ・更新等の 投資	その他
製造業	(54)	50.0	25.9	33.3	24.1	33.3	7.4
非製造業	(140)	22.9	32.9	26.4	12.9	23.6	3.6

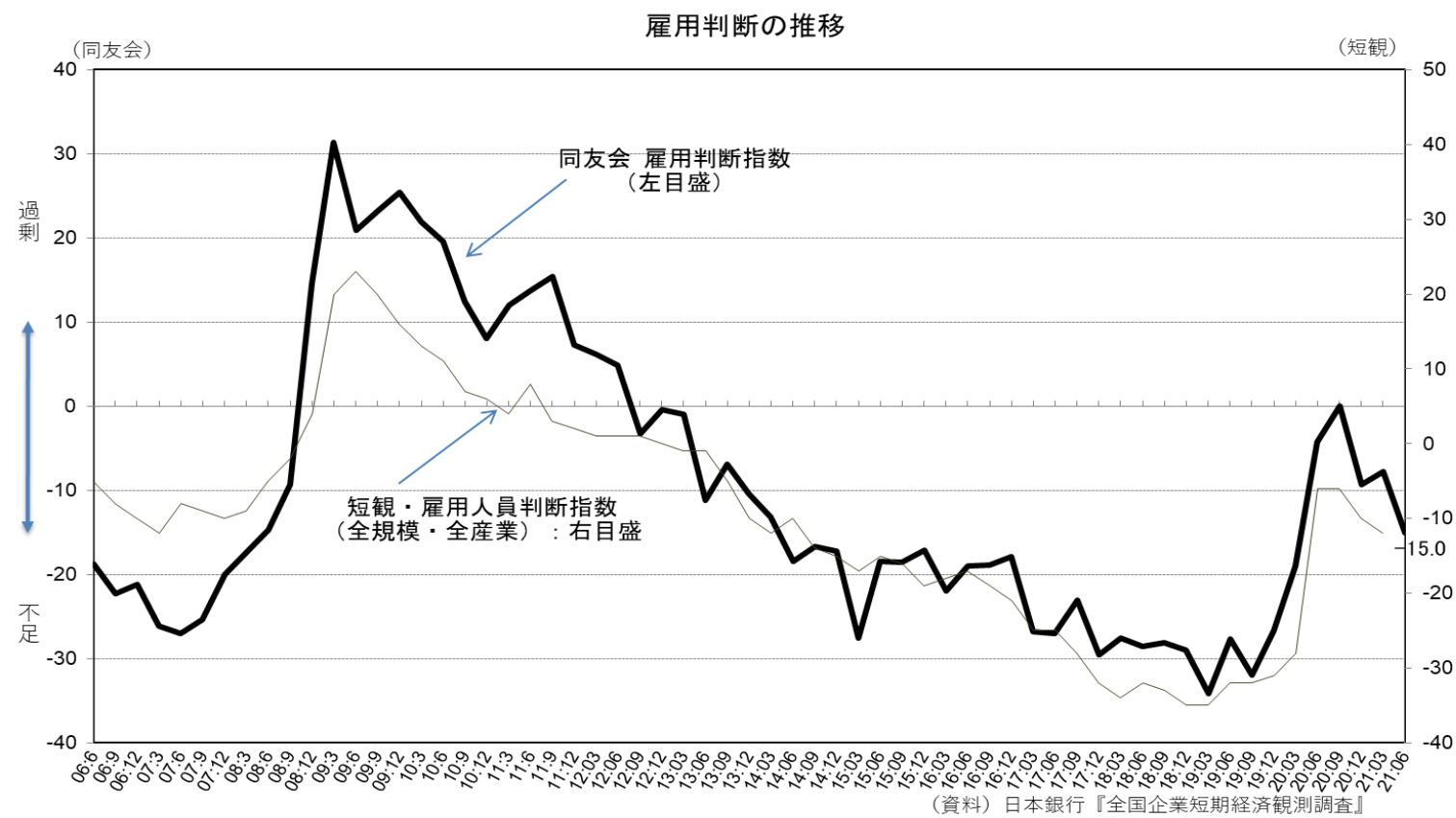
●減額設備投資

製造業	(54)	11.1	7.4	7.4	1.9	16.7	11.1
非製造業	(140)	7.1	8.6	7.9	0.0	15.7	5.0

3. 貴社の雇用の状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。

(1)全体として、雇用人員は

図表7(1)



(注) 同友会雇用判断: アンケートの回答について、「过剩」を1、「適正」を0、「不足」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。

図表7(2)

(回答比%)

調査時点		2019/9	2019/12	2020/3	2020/6	2020/9	2020/12	2021/3	2021/6
全体 (回答数200人)	过剩である	4.5	5.1	10.6	15.2	18.7	13.6	12.8	9.0
	適正である	59.0	63.1	59.7	65.4	62.6	63.6	66.5	67.0
	不足している	36.5	31.8	29.6	19.4	18.7	22.9	20.6	24.0
	同友会雇用判断指数	-32.0	-26.7	-19.0	-4.2	0.0	-9.3	-7.8	-15.0
製造業 (回答数54人)	过剩である	5.6	6.5	12.3	18.2	26.4	24.2	15.3	5.6
	適正である	61.1	71.0	66.2	65.2	58.5	58.1	69.5	68.5
	不足している	33.3	22.6	21.5	16.7	15.1	17.7	15.3	25.9
非製造業 (回答数146人)	过剩である	4.0	4.5	9.9	13.9	15.7	9.2	11.9	10.3
	適正である	58.0	59.4	57.0	65.6	64.2	65.8	65.4	66.4
	不足している	38.0	36.1	33.1	20.5	20.1	25.0	22.6	23.3

(2)过剩感のある雇用人員／(3)不足感のある雇用人員の主な内容をお選びください(それぞれ2つまで)。

図表7(3)

○过剩人員

(回答比%)

回答数		経営・ 管理職	一般社員 、工員等	技術者・ 専門 技能者	営業専門職 (歩合、請負等)	アシスタント (派遣、パート、 アルバイト等)	その他
製造業	(54)	3.7	7.4	0.0	3.7	7.4	1.9
非製造業	(146)	8.9	6.2	2.1	2.1	2.7	5.5

●不足人員

製造業	(54)	5.6	14.8	40.7	3.7	3.7	3.7
非製造業	(146)	8.9	7.5	30.8	6.8	2.7	5.5

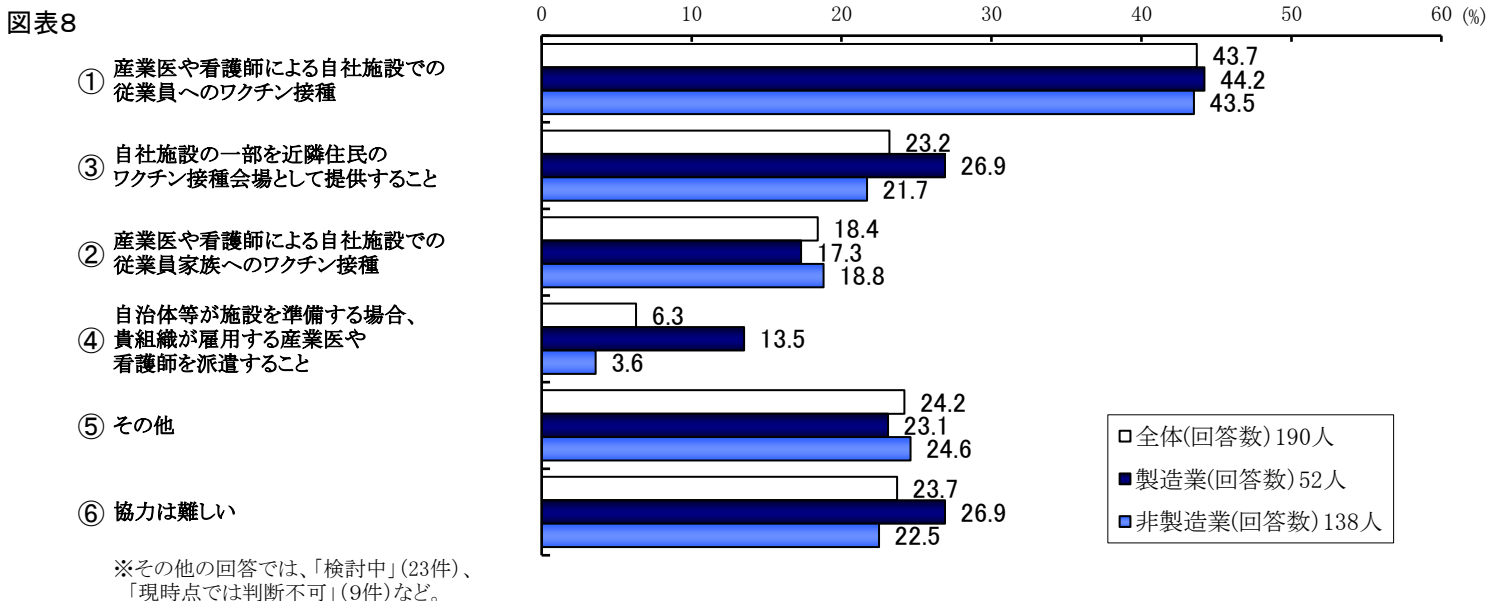
Ⅲ. トピックス：ワクチンの職域接種への協力体制とワクチンパスポートへの期待

国内でも、医療従事者・高齢者の順に、新型コロナウイルスワクチンの接種が本格化しています。政府は、社会・経済活動の回復に向けて、ワクチン接種を加速する姿勢を打ち出しており、先頃、本会を含む経済団体に対しても、職域におけるワクチン接種への協力、ワクチン休暇の付与等、社員がワクチン接種を受けやすい環境づくり、ワクチンパスポートの導入について要請がありました。これを受け、個別企業が、ワクチン接種会場の提供、ワクチン休暇の導入など、協力の意思表明を始めています。
参照：<https://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2021/210517a.html>

1. ワクチンの職域接種への対応について

(1) 職域接種等にあたって、貴組織においてご協力いただけることがありましたら、以下の選択肢よりお選びください。
また、(2) 実施に際しての懸念事項等がありましたら自由記述欄にご記入ください。

(1) 職域接種等にあたって、ご協力いただけること(複数回答可)



(2) 実施に際しての懸念事項、協力が困難な理由等(自由記述)

①情報に関する事項 (21件)

- 要件、予約状況の管理、日程調整の可否、自治体との連携方法等、職域接種に必要な情報がわからない。(建設、化学、医薬品、卸売業、小売業、普通銀行、保険、情報・通信など)

②オペレーションに関する事項 (47件)

- 副反応等の症状がある場合、自社での対応が難しく、地域の医療機関との連携が必要。(建設、繊維製品、ガラス・土石製品、電気機器、小売業、普通銀行、証券、保険、不動産、空運など)
- 副反応の発生等による業務への影響を踏まえると、接種の優先順位やグループ分けが難しい。(化学、医薬品、普通銀行など)
- 実施前に、医師や看護師への説明や手技を身に着ける講習など、事前準備が必要。(小売業、証券など)
- 産業医、看護師など産業保健スタッフ本人の同意が必要。(電気機器など)
- 企業に提供される予約・物流・記録・現場運営・各種システムなどは、企業ごとのカスタマイズが不要で、パッケージ化されたものであることが望ましい。(サービス(その他))

③設備・リソースに関する事項 (60件)

- 適切な規模のスペースを確保することが難しい。(建設、繊維製品、化学、機械、電気機器、卸売業、信託銀行、保険、不動産、情報・通信、サービス(コンサルティング)、シンクタンクなど)
- 十分な数の医療スタッフや事務スタッフを確保することが難しい。(建設、食料品、繊維製品、化学、ガラス・土石製品、非鉄金属、機械、輸送用機器、卸売業、小売業、普通銀行、信託銀行、保険、陸運、情報・通信、サービス(その他)など)
- ワクチンを保管する冷蔵庫等の設備が整っていない。(食料品、繊維製品、陸運、情報・通信など)

④行政との連携に関する事項 (9件)

- 国や地方自治体とワクチン接種の情報を共有する仕組みが十分でない。(機械、小売業、保険、陸運、情報・通信など)
- 早期にマイナンバーに紐づけ一元管理を可能とすべき。(情報・通信など)

⑤セキュリティに関する事項 (6件)

- セキュリティの都合上、近隣住民等を受け入れることが困難。(食料品、陸運、空運など)

⑥その他 (29件)

- テレワークを進めているため、出勤して接種するメリットがあるのか検討が必要。(電気機器、情報・通信、サービス(その他))など

2. ワクチンの接種・副反応に係る休暇について

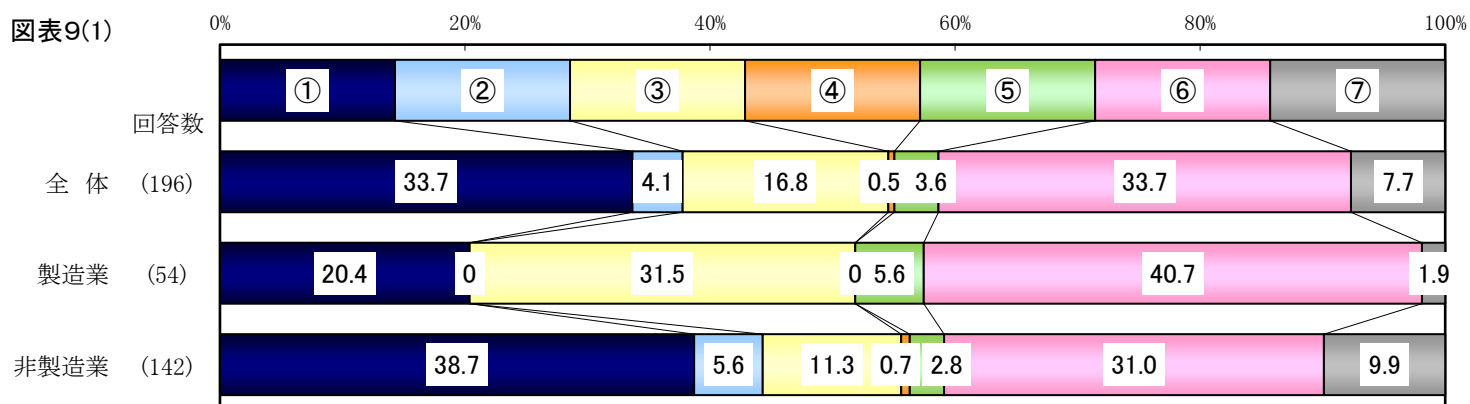
現役世代のワクチン接種に際しては、休日への集中緩和を図る観点から、平日・職場近郊での接種が推奨されています。また、今回のワクチン接種では、倦怠感などの副反応が生じる可能性が高いことも指摘されています。こうした状況を踏まえ、貴組織では、社員のワクチン接種・副反応発生について、どのような取り扱いを検討していますか。

(1)従業員のワクチン接種と(2)副反応発生時の対応につき、以下の選択肢よりそれぞれお選びください。

(1)従業員のワクチン接種

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| ① 就業時間とみなす | ⑤ 年次有給休暇を取得するように推奨する |
| ② 勤務調整により、就業時間外または休日となるように配慮する | ⑥ 検討中／まだ検討をしていない |
| ③ 特別休暇（有給）を付与する | ⑦ その他 |
| ④ 特別休暇（無給）を付与する | |

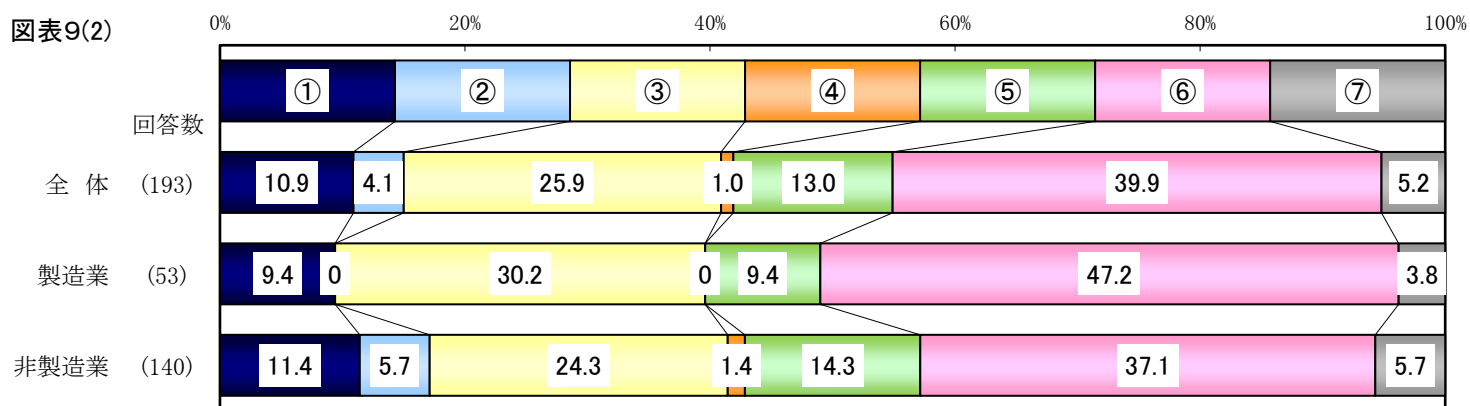
図表9(1)



(2)副反応発生時の対応

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| ① 就業時間とみなす | ⑤ 年次有給休暇を取得するように推奨する |
| ② 勤務調整により、就業時間外または休日となるように配慮する | ⑥ 検討中／まだ検討をしていない |
| ③ 特別休暇（有給）を付与する | ⑦ その他 |
| ④ 特別休暇（無給）を付与する | |

図表9(2)



3. ワクチンパスポートについて

現在、海外渡航者向けにワクチンの接種歴などを記録したいいわゆる「ワクチンパスポート」の導入が検討されています。また、ワクチン接種が進む諸外国では、今後の経済再生に向け、国内でも施設への入館やイベントへの参加に際して、ワクチンパスポートの活用が検討されています。「ワクチンパスポート」が導入された場合に期待する使途や懸念事項等がありましたら、自由記述欄にご記入ください。

【期待する使途等】

①海外往来時の制限の緩和等（98件）

- ・海外出張、赴任時の隔離期間の短縮。（建設、食料品、繊維製品、化学、ガラス・土石製品、非鉄金属、機械、電気機器、輸送用機器、卸売業、普通銀行、保険、不動産、陸運、海運、情報・通信、電気・ガス、サービスなど）
- ・海外訪問機械の拡大等による円滑な海外ビジネス遂行に必要。（化学、ガラス・土石製品、機械、電気機器、その他製品、卸売業、小売業、証券、情報・通信、サービスなど）
- ・顧客の訪日アレンジ、インバウンド入国者数の回復への期待。（卸売業、不動産など）

②国内ビジネスでの活用（30件）

- ・作業現場や工場等、出社せざるを得ない職場における活用。（建設、食料品、卸売業など）
- ・国内出張や商談、会食等のビジネスにおける制限の緩和。（食料品、化学、非鉄金属、金属製品、機械、卸売業、小売業、普通銀行、その他金融、不動産、電気・ガスなど）
- ・顧客への提示による安心感の提供。（証券など）

③国内の行動制限の緩和（32件）

- ・国内旅行、観光の制限緩和。（建設、卸売業、不動産など）
- ・公共施設（コンサートホール、美術館）へ入場する際の優先順位の考慮。（電気機器など）
- ・イベントや施設入場の際の人数制限、営業時間等の緩和。（その他製品、小売業、普通銀行、その他金融、陸運、空運、情報・通信、サービス（広告）など）
- ・イベント開催時、施設入場時の入場パスとしての活用。（不動産、情報・通信など）
- ・各施設にでの手続き業務の簡略化の実現。（サービス（コンサルティング）など）

④その他（9件）

- ・ワクチン接種のインセンティブになりうる。（その他金融、情報・通信など）

【懸念事項等】

①事情により接種できない方への配慮（41件）

- ・事情によりワクチンを接種できない方が誹謗中傷や不利益を被らないようにする必要。（建設、食料品、繊維製品、化学、医薬品、機械、電気機器、精密機器、卸売業、小売業、普通銀行、証券、保険、不動産、陸運、空運、情報・通信、サービスなど）
- ・多くの方が納得できる運用方法に関する議論、組織へのサポートが必要。（情報・通信、サービス（コンサルティング）など）

②国際的な取り扱いと整合性（12件）

- ・各国が独自の基準でパスポートを発行する場合、保有有無だけでなく有効性を確認する必要。（機械、その他製品など）
- ・接種歴の定義や証明方法等において、グローバルで共通の基準やルールが必要。（電気機器など）
- ・対応速度、厳格さ等の面で、国家間での格差が発生する懸念がある。（卸売業など）
- ・各国で様式が異なる実態（紙またはデジタル、発行主体、サイン有無、など）を踏まえ、柔軟な対応を行うべき。（保険など）

③パスポートへの過信（6件）

- ・未知の問題もある中では、制限の緩和は慎重に進めるべき。（建設など）
- ・ワクチンの効果は完全ではないため、当面は注意して行動する必要。（食料品、繊維製品、電気機器、保険、不動産など）

④その他（33件）

- ・居住地域によってワクチン接種の時期に差が生じれば、行動制限にも差が生じ不公平感が広がる懸念がある。（化学など）
- ・未接種の場合、より厳しく行動が制限される懸念がある。（ガラス・土石製品など）
- ・パスポートを所持していないことによる行動制限が多岐にわたる場合、企業活動への支障、ビジネス機会の不均等が生じる懸念がある。（電気機器、卸売業、その他金融など）
- ・プライバシー・個人情報保護の仕組みを確立する必要がある。（卸売業、情報通信、サービス（コンサルティング）など）
- ・取得にかかる期間やコストが不明。（その他金融など）
- ・コストの増加、書類の追加や手続きに要する時間の長期化の懸念。（保険など）
- ・紙のパスポートの場合には偽造が容易なため、偽造防止策が必要。（保険、情報通信など）

－回答者業種分類－

製造業		54人
食 品		6
繊維・紙		2
化学製品		19
鉄鋼・金属製品		4
機械・精密機器		7
電気機器		8
輸送用機器		2
その他製品・製造		6
非製造業		148人
建 設		11
商 業		22
銀 行		21
その他金融		7
証 券		4
保 険		12
不動産		9
運輸・倉庫		11
情報・通信		18
電力・ガス		3
サービス(コンサルティング、研究所)		8
サービス(法律・会計・教育・医療など)		5
サービス(ホテル業、エンターテインメント)		2
サービス(広告)		2
サービス(その他)		11
その他		2
回答者総数		202人

－回答者ブロック別分類－

公益社団法人 経済同友会		147人
各地経済同友会代表幹事計		55人
北海道・東北		6
関 東		7
中部・北陸		12
近 畿		4
中国・四国		13
九州・沖縄		13
回答者総数		202人